

授業科目名[英語名]						
生き方と道徳[Way of life and moral]						
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]						
神田嘉延[099-285-3755]						
E-Mail	k6820452@kadai.jp		受講対象	全		
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 人間	開講期	前期水曜3	単位等 2.0
共同担当教員名						
教育目標のキーワード						
視野・判断力・探求能力/						
学習目標(学生の達成 目標)						
<p>生き方と徳育を人間力という視点から講義する。徳教育の内容論として、日本の伝統や歴史における生き方や道徳の思想を現代社会で、生きるということやモラルの課題を考えることを学修目標とする。日本の伝統思想を道徳教育から再評価し、日本の伝統的な文化や思想を学生とともに考えていく授業とする。生き方について、考える力をつける。</p>						
授業概要(目的・内容・方法)						
<p>生き方と道徳を現代社会との関連や歴史社会的側面から内容論の講義をする。          生き方と道徳を現代社会のモラル問題から位置づける。日本の歴史における道徳思想家を積極的にとりあげ、その現代的な思想的意義をモラル問題と生き方を関連させる。          日本の仏教思想にみる道徳観、日本道教思想にみる道徳観、日本の民話・説話にみる子育て観          貝原益軒の子育て論、伊藤仁斎の子どもの見方、石田梅岩の商人教育論、          安藤昌益の環境・労働観・平等思想等、渋沢栄一の経済倫理論、新渡戸稲造の武士道、稲盛和夫の人間観や生き方など。</p>						
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 , 講義の意図、授業方法の確認</li> <li>2 , 現代社会における生き方とモラルを現実の退廃状況を直視しながら考える</li> <li>3 , 青少年の非行問題の現実と学校教育の課題を考える</li> <li>4 , 日本古来からの信仰の複合性と寛容性からモラル問題を考える。</li> <li>5 , 新渡戸稲造の武士道からモラル問題をみつめる。</li> <li>6 , 日本のヒューマニズムを伊藤仁斎の童子門から考える</li> <li>7 , 市場のモラル問題を日本の江戸時代の商人道徳論の石田梅岩から考える</li> <li>8 , 農民的儒教として、安藤昌益のエコロジー思想・労働観を考える</li> <li>9 , 日本的な協同思想としての大原幽郭から地域相互扶助的協同思想を考える、</li> <li>10 , 渋沢栄一の論語と算術から公益思想を考える、</li> <li>11 , 鹿児島の中教育から青年の道徳修養と遊びを考える</li> <li>12 , 内村鑑三の代表的日本人から日本的モラルを考える</li> <li>13 , 稲盛和夫の人間観と生き方からモラル問題を考える</li> <li>14 , 現代社会とモラル問題を総括的に考える</li> </ol>						
受講要件	なし					
評価基準および方法	授業の理解度と創造性 40%、小レポート(出席も兼ねる) 60%					
教科書	なし	参考書	授業中のテキスト資料を配付する。			
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	木曜日 1時30分から3時まで		その他			